

## シートセット・マネージャ



### 図面管理機能？ 新規シートの作成&まとめて印刷

#### ✓リソース図面

データの保存場所の指定、フォルダの追加ができる。  
シートに配置するためのファイルとビューの一覧表示。

データとはモデル空間に作成された図 (DWG)、このファイルに  
「名前付ビュー」を作成することで一覧に表示される

「名前付ビュー」には「分類」も追加でき、これが、シート作成  
後、「ビュー一覧」に分類分けし表示される。

#### ✓シート一覧

新規図面を作成する。

作成された図面はテンプレートで指定したレイアウトが適用され  
る。

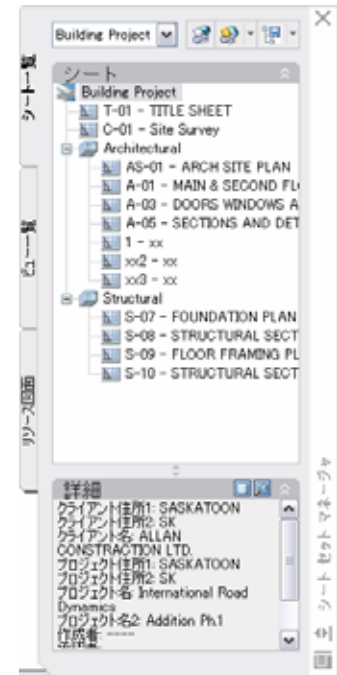
「サブセット」：名前を付けグループ分けできる。  
セットごとに印刷、保存場所、テンプレートが指定できる。

シートに「リソース図面」のファイル又はビューをドラッグし配  
置できる (シートとリソース間は外部参照となる)

#### ✓ビュー一覧

シートに配置したビューの一覧表示

ファイルを開いたり、基図にビュー番号のシンボルを配置できる



### シートセットで出来ること

#### シートセット ショートカットメニュー

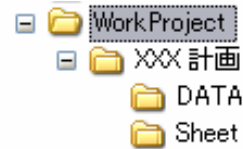
シート セットを開じる(O)	
シートを新規作成(S)...	
サブセットを新規作成(U)...	
レイアウトをシートとして読み込み(L)...	
すべてのシートを再保存(R)	
アーカイブ(H)...	
パブリッシュ(P)	DWF (D)パブリッシュ(D)
e-トランスミット(E)...	プロッタ(D)パブリッシュ(P)
転送セットアップ(T)...	ページ設定上書きを使用してパブリッシュ(A)
シート一覧表を挿入(I)...	印刷スタンプを含める(S)
プロパティ(O)...	印刷スタンプ設定(T)...
	ページ設定管理(M)...
	シート セット パブリッシュ オプション(O)...
	パブリッシュ ダイアログ ボックス(B)...



## シートセットの設定

準備：

- ✓ プロジェクトのフォルダを作成  
参考例として！  
プロジェクト内のフォルダを  
リソースとシートに分けてみる



(注：リソース内のレイアウトもシートとして登録できるので、必ずしも分ける必要は無い。  
シートセットを理解する上で、リソースとシートを分けて考えることがポイントです。)

- ✓ テンプレート
  1. シートに利用する図面枠をレイアウトに設定
  2. プロッタ、プリンタ用の印刷設定  
(A1印刷をA3印刷などに切替えて印刷できる)
  3. 図面枠のタイトル、スケールなどにフィールドを設定
  4. ビューのタイトルラベル、吹出しラベルをブロック作成  
(ラベルの文字はフィールドを適用)

1. フォルダを作成  
Windowsエクスプローラで上記例と同様のフォルダを作成

2. シートセットの作成  
「ファイル」-「シートセットを新規作成」  
「既存図面から作成」 「次へ」  
シートセット名前：XXXX 計画  
シートセットの保存場所：D:\WorkProject\XXXX 計画  
「シートセットプロパティ」  
リソース図面の場所： D:\WorkProject\XXXX 計画\DATA  
シートの保管場所： D:\WorkProject\XXXX 計画\Sheet  
「カスタムプロパティ」  
追加をクリックし 物件名、管理者、施主、場所などを追加し「次へ」



予めデータがあれば、「読み込オプション」で条件を決め、「参照」でフォルダ指定  
「次へ」「完了」

### 3. テンプレート作成

既存 または、新規に レイアウトに図面枠を設定

タイトル欄で、シートプロパティから読込める情報をフィールドとして追加

例) 文字の編集時に右クリックし「フィールドの挿入」

フィールド分類：シートセット

フィールド名：シートセット

シートセット：XXX計画

プロパティ：物件名

または

フィールド名：現在のシートセットのカスタマイズ

カスタムプロパティ名：物件名

(参考テンプレート：¥XXX計画¥Sheet-Template.dwt)

#### 印刷設定

複数の印刷設定を利用する場合「ページ設定管理」に新規追加しておきます。後から、シートセット プロパティ「ページ設定上書きファイル」に設定すれば追加もできます。

(例 図面枠をA1とした際、プロッタで印刷したり、A3サイズに縮小印刷する時など)

### 4. ビューラベルブロックの作成

(参考ファイル：¥XXX計画¥SheetBlock.dwg)

リソースからシートに配置する際タイトル、番号、尺度が表示されるよう

属性付きブロックを作成します。

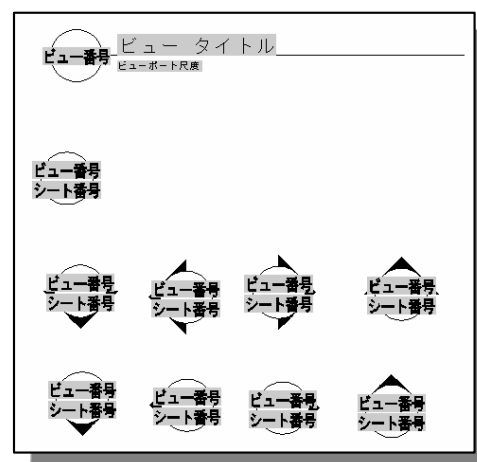
属性文字にはフィールドを追加しておきます。

例) 文字の編集時に右クリックし「フィールドの挿入」

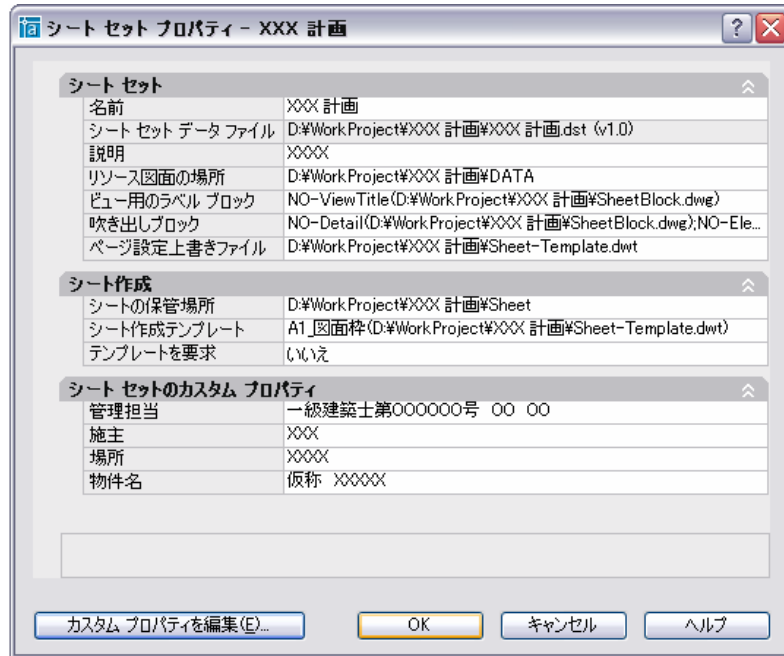
フィールド分類：シートセット

フィールド名：シートセットのプレースフォルダ

種類：ビュー番号



5. シートセットのプロパティ設定  
テンプレート作成が終了したら  
「シートセットマネージャ」のプロジェクト名で右クリックし  
「プロパティ」を表示  
下記のように追加設定します。



Note:

## シートセットを利用する

1. リソース図面・ビューに名前を付けて保存  
シートに配置する際のビューを登録しておきます。  
(参考図面：断面図.dwg)  
「表示」-「ビュー管理」「登録」をクリック  
ビュー名：断面図-1 (リソース&ビュー一覧で表示される名前)  
ビュー分類：断面図 (ビュー一覧で表示される分類) LTは無し  
「窓定義」をクリックし範囲を指定  
  
同様に「断面図-2」を登録  
ファイルを保存します。  
最終レイアウトをせずに、作業状態で保存することで、変更時に楽に作業ができます
2. シートを追加  
「シート一覧」プロジェクト名「XXX計画」で右クリック  
「シートを新規作成」  
番号：A-10  
シートタイトル：断面図  
「OK」
3. リソースの配置  
「A-10 断面図」シートをダブルクリックしファイルを開きます。  
「リソース図面」に移り  
「断面図-1」をシートにドラッグします。  
右クリックで尺度を選択 [1/200]が無いので、「1/16"=1'」を選びます。  
おいおい 次のバージョンから....  
配置されたビューポートを選択しプロパティで  
カスタム尺度：1/200  
ビューロック：はい  
レイヤー：Defpoints
4. 平面図に断面番号を配置  
「ビュー一覧」に移り「断面図-1」を右クリック  
「名前変更と番号変更」  
番号：01 「次へ」 番号：02 「OK」  
「平面図 01 - 1F」をダブルクリックで開き  
「断面図-1」を右クリック「吹出しブロック」-「NO Section U」  
平面図に配置します。